

## ゲームの同人誌 一惜しみなく、分かち合う

ゲームの本…それは同人誌から始まりました。

自分の編み出したワザも、発見した裏ワザも惜しみなく仲間に伝えたい。同人誌にはそんなゲームへの思いがあふれています。同人誌を作っていた人たちの中には後にゲーム雑誌のライターやゲームクリエイターとして活躍することになる人もいました。



有名なあの人  
始まりは…?



2018年

## ゲームの攻略本 一その先へ行くために

ゲームの攻略本で初めて出版されたのは1979年の『インベーダー攻略法』（ヘラルド・エンタープライズ）です。当時ゲームセンターや喫茶店の筐体で、少ないお金でできるだけ長くプレイするために、攻略法が必要とされました。1985年と1986年の書籍総合ベストセラー1位は、130万部を売り上げた『スーパーマリオブラザーズ完全攻略本』（徳間書店）でした。



## ゲームの雑誌 一早く知りたい、もっと知りたい

パソコン雑誌の増刊号として始まったゲームの専門誌は、ファミリーコンピュータ（任天堂1983年）の人気とともに数が増え、発売されるゲーム機ごとに新たな雑誌が創刊されるようになりました。ゲームファンは新しいゲームソフトの発売情報などを知りたくてこれらの雑誌を購読しました。

いったい  
何種類?



# CONTINUE 2 ゲームの書籍と文化

1978年、「スペースインベーダー」(タイトル)が登場すると、日本中が初めて触れる新しいゲームに夢中になりました。それから44年経ちますがこの間、様々なゲーム機とゲームソフトが発売され、ビデオゲームの多種多様な楽しみ方が生まれ、ビデオゲームはひとつの文化を形作り、私たちの暮らしになくてはならない娯楽となりました。この夏季特別展では、ビデオゲーム黎明期に生まれたゲームの同人誌から始まり、その後発展したゲーム雑誌や攻略本等のゲーム関連書籍から、ゲーム文化の成り立ちを振り返ります。

SPACE INVADERS (スペースインベーダー アップライト筐体) 立命館大学 ゲーム研究センター蔵



1979年



SPACE INVADERS (スペースインベーダー テーブル筐体) 小山光博氏蔵

おとなよい  
情報通!

## 学年別学習雑誌 一勉強だけじゃもったいない

『小学1年生』などの学年別学習雑誌は、その時の子どもたちが夢中になったマンガやヒーロー、スターを取り上げています。ゲームの記事も早くから掲載されており、子どもたちにゲームの情報を提供していました。



## 番外編 一こんな本もあったんだ

ゲームの本は雑誌や攻略本以外にも多種多様なジャンルから発売されています。手芸店でしか売られていなかったり、いろいろなマンガがあったり、ゲームクリエイターが書いていたり…と。こんな本知らなかった!



掲載資料の内、表記されていないものはすべて個人による所蔵です。